

# 塗料講演会「自動車を中心とした塗料・塗装の最新動向」

**主催** 一般社団法人色材協会 関東支部

**協賛** (予定) 日本塗料工業会, 関東塗料工業組合, 東京塗料商業協同組合, 日本塗料検査協会, 日本化学会, 高分子学会, 自動車技術会, 化学工学会, 日本塗装技術協会, 腐食防食学会, 有機合成化学協会, 表面技術協会, 日本工業塗装協同組合連合会

塗料講演会は塗料業界の技術向上と発展を目的として、年1回5月に開催しております。今回は技術革新の著しい「自動車用途」に焦点を当て、最先端で活躍されている先生方にご講演いただきます。近年自動車ボディ用の塗料開発は「水性化」、「省工程」を経て、次の段階に入っていると言えます。自動車がCASE、Maasに進むとされている中「意匠はどうあるべきか」、「エネルギー負荷の高い塗装工程をどうするか」、「素材の軽量化・マルチマテリアル化にいかに対応するか」、「塗装は他の技術に置き換えられるのか」が議論されています。本会では、技術者の方ももちろん、塗料・塗装の将来に興味のある方すべてに有用な情報が得られるものと確信しております。多数の方々のご参加をお待ち申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、Zoomによるオンライン開催とさせていただきます。変更の場合は速やかにお知らせいたしますので、ご来場前には必ずホームページ等のご確認をお願い致します。

**日時** 2023年5月12日(金) 9:40~16:40 (受付開始時間 9時10分より)

**会場** 東京大学 駒場リサーチキャンパス 生産技術研究所 An棟 2階 コンベンションホール

[東京都目黒区駒場 4-6-1]

小田急線・東京メトロ千代田線/代々木上原駅より徒歩15分 小田急線/東北沢駅から徒歩10分

京王井の頭線/駒場東大前駅西口から徒歩15分 京王井の頭線/池ノ上駅から徒歩15分

**受講料** 会員 20,000円、会員外 33,000円 (テキスト代、消費税込) (協賛学協会員は会員扱いとします)

\*テキストは事前に送付いたします。

**申込締切日** 定員 会場 (100名) になり次第 締切ります。お早めにお申し込みください。

テキスト送付の都合上、4月28日(金)までにお申し込みください。

**申込方法** 申込書に所定の事項を明記してメールにてお送り下さい。

受講料は請求書到着後に①郵便振替②銀行振込のいずれかで講座前日までにお振込み下さい。

(郵便振替口座: 00120-7-76423 銀行口座: 三菱UFJ銀行恵比寿支店 普通預金No.1547898 (社)色材協会)

**申込先** 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 3-12-8 東京塗料会館 201号室

(社)色材協会 TEL 03-3443-2811 FAX 03-3443-3699 E-mail: admin@jscm.or.jp

参加ポリシー ・受講者は、講座内容の撮影、動画・音声の録画・録音を禁止いたします。

塗料講演会「自動車を中心とした塗料・塗装の最新動向」申込書

2023年 月 日

受付No. \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ 所属学協会名 \_\_\_\_\_ 会員番号 \_\_\_\_\_

勤務先 \_\_\_\_\_ 所属部課名 \_\_\_\_\_

所在地 〒 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ E-mail: \_\_\_\_\_

※適宜☑を付けて下さい。

受講料  会員 ¥20,000

会員外 ¥33,000

払込方法 (お申込み書到着後、請求書を郵送します)

郵便振替 ( 月 日 払込予定)

銀行振込 ( 月 日 払込予定)

今後開催される色材協会主催の講座についてE-mailでの案内を希望しますか。(  希望する ・  希望しない)

上記情報は(社)色材協会事務局にて管理いたします。

# 塗料講演会「自動車を中心とした塗料・塗装の最新動向」

## — 演 題 と 講 師 —

9:40～9:45 【 オープニング 】

9:45～10:45 1) 自動車塗装における究極の意匠を目指して

関西ペイント株式会社 成田信彦

自動車用シルバーメタリック意匠は進化し続けており、粒子感が無く超高輝度であるミラー調意匠が近年市場展開されている。これら超金属調シルバーを利用した高彩度塗色では、アルミの配向と彩度の関係にポイントがあり、弊社技術員とデザイナーが一体となり研究している。

講演では、シルバーの変遷や高彩度色の見え方の研究について触れたい。

11:00～12:00 2) 低温一体塗装の量産適用

日産自動車株式会社 岡本倫幸

ボディ、バンパなど樹脂部品を同一工場で共通材料を用いて一体で塗装し、85°Cで焼付可能な新規材料開発を行い、量産車両であるARIYA、Zへ適用しました。

低温一体塗装で得られる成果、及び量産適用時の課題と対応方策に関して、紹介を致します。

13:00～14:00 3) 自動車向けプラスチック用塗料の最新動向

株式会社オリジン 小田隼人

軽量化や形状自由度の高さから自動車の外装、内装部品の多くはプラスチック素材で構成されている。講演ではこれらの自動車部品を保護し美観、機能を付与する塗料の最新動向とカーボンニュートラル対応を紹介する。

14:15～15:15 4) 今後の加飾技術～塗装代替プラスチック加飾技術を中心に～

MTO技術研究所 榊井捷平

通常の湿式塗装は、環境問題、作業性などで課題があり、フィルム加飾、モールドインカラー（原着樹脂成形）、インモールド塗装等の乾式の加飾に代替したいとのニーズがある。講演では、これらの状況について解説する。

15:30～16:30 5) インモールド工法

大日本塗料株式会社 前田浩志

樹脂基材の成形と塗装を同一金型内で行うインモールドコーティング（IMC）は、塗装におけるCO<sub>2</sub>排出量削減に貢献する技術である。本講演では、IMCの中でも、大日本塗料（株）が推進している一液タイプのIMC技術について説明する。

16:30～16:40 【 アンケート記入・閉会挨拶 】